平成18年 11月号
No.186

# 思惑の違い表面化、「83会」のメンバー 反対派有志「復党問題を考える会」設立へ

## 大詰めを迎える復党問題

自民党内で郵政民営化法案に反対した無所属議員、落選した元議員らの復党問題について色々と論議が交わされている。新旧執行部の発言が連日マスコミで報道されているが、中でも昨年の総選挙で初当選した新人議員、いわゆる小泉チルドレンの動向が注目を集めている。昨年の総選挙で刺客候補を含む83人の新人議員が誕生し、同期の親睦会として「83会」が結成された。復党問題が持ち上がった当初、「刺客」と呼ばれた議員を中心に、「83会」として復党を認めないよう執行部に申し入れることを考えたが、会の中でも復党について意見が分かれ、会としての統一行動を断念した。そこで、有志メンバーが「復党問題を考える会」を設立し、執行部に慎重な対応を求めていくこととなった。「83会」での激しい議論について、新人議員の一人は、「同期といえども各々が抱えている事情が違う。当選の経緯も色々。小選挙区を持つ者、純粋比例で小選挙区を持たない者、造反組と闘った刺客と呼ばれた者。経緯が違えば、思いも違う。会として統一した見解を内外に示すことは難しい。加えて、復党問題は新人議員だけではなく、党全体の問題である。」と語っている。来年の選挙を控え、参議院側は年内にも復党の実現を強く迫っている。安倍総裁が、自身の思想信条に近い無所属議員らの復党問題に、いかにリーダーシップを発揮するか、正念場を迎えている。

復党問題で揺れ動く「83会」総会

## 自民党府連 二之湯真士氏を公認

### 来年4月の府議会議員選挙(右京区選挙区)

10月21日、自民党京都府連の選挙対策常任委員会が開かれ、右京支部より公認申請のあった二之湯真士氏(27才、参議院議員二之湯智・秘書)を府会公認候補として決定した。この結果、府会の右京区選挙区(定数5人)では、自民2名、公明1名、共産2名、民主1名の公認候補予定者が出揃った。過去2回の右京区選挙区では、自民党は複数候補者を擁立しながら、選挙戦術の失敗で、ともに一議席しか獲得できず、共産党に二議席を許してきた。今回も6名で5つの議席を争う少数激戦が予想される。今回、公認が決定した二之湯真士氏は、27才という持ち前の若さと行動力を前面に活動の輪を広げることが期待されている。

**(二之湯真士の抱負)**

自民党から府会議員への挑戦権を与えて頂き感謝致します。益々重要となる住民の自主的な活動をしっかりと支援できるよう、官と民をきっちりと繋(つな)いで参りたいと存じます。

**(二之湯真士の経歴)**

昭和54年生まれ、西院小・西院中・山城高校・早稲田大学卒業、現在自民党京都府連青年部次長、参議院議員二之湯智秘書

# 参議院総務委員会　二ノ湯議員、消防とNHKで質問

10月31日、参議院総務委員会で、総務大臣の所信に関し、自民党から二ノ湯議員が質問に立った。二ノ湯議員の質問の主な内容は次の通りである。

☆**二ノ湯議員**：第164回通常国会で、市町村の消防の広域化を推進するための消防組織法が成立を致しました。今回の広域化の対象は各市町村の常備消防で、広域消防の管轄の人口は約30万以上であります。何故市町村消防の広域化が必要なのか、広域化のメリットは何かを最初にお尋ねしたい。

**消防庁長官**：広域化の目的、メリットですが、小規模な消防本部においては、出動体制、保有する消防車両、専門要員の確保等に限界があることや、組織管理や財政運営面での厳しさが指摘されることがあります。このために、消防の体制の整備及び確立を図り、市町村の消防の広域化により、行財政上の様々なスケールメリットを実現することは極めて有効だと考えています。

☆**二ノ湯議員**：広域化は人口30万が一つの目安ですが、過疎県ではかなり広い区域でないと30万という規模にはならない。それだけの大きいところでいったん災害が起きれば機動性に欠けるのではないかと、思います。人口30万を全国一律に当てはめていくのか、お伺い致します。

**消防庁長官**：各市町村は管轄面積の広さ、あるいは狭さ、また交通事情、島嶼（しょ）部などの地理的条件、地域の歴史、日常生活圏、人口密度及び人口減少などの人口動態等の地域の事情に、十分な考慮が必要であると思っています。一律に管轄人口を一定以上と想定しているものではございません。

☆**二ノ湯議員**：将来消防庁の幹部になられる方に消防署の署長、幹部に登用することは、消防職員、消防団員の士気を高めるのに非常に効果的ではないかと、思います。夜中たたき起こされて消防自動車に乗るとか、火災現場に行くとか、あるいは地域の消防団員と一緒になって年末警戒に歩くとか、消防団員の募集について行くとか、そういう苦労することが将来の幹部の人にとっても非常にいいことだし、また現場の第一線で頑張る消防士、消防団員にとっても大きな励みになるのではないかと思いますが。

**消防庁長官**：私ども消防庁の職員が消防隊員、消防団員の方々の現場の苦労、事情を知ることは大変重要なことだと認識しています。現在、消防庁で採用しました技官は、原則として　採用二年目から消防学校への入校とか、消防本部での勤務など様々な現場体験、経験を踏まえた上で、改めて本庁勤務をさせるといったような努力もしているところであります。

☆**二ノ湯議員**：救急車を本来の目的と違って要請をする方が増えています。本当に困った人、重症患者が命の危険にさらされるぐらい出動回数が多いわけでございます。最近、消防庁では救急業務における患者の選別に関する検討会を設けて、救急車を呼んだ方が、本当に救急車が必要であるのかないのか、検討中であると伺っております。現段階での検討状況を、お聞かせください。

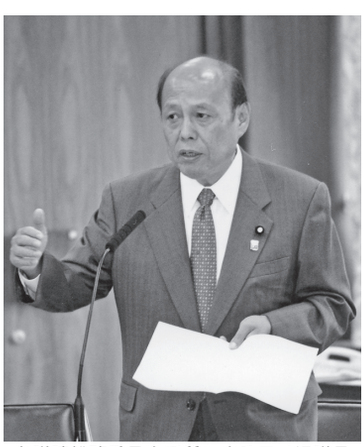
**消防庁長官**：消防庁としては、真に緊急を要する傷病者への対応が遅れることのないように、昨年度来、検討会を開催いたしまして、軽症者に対する民間搬送事業者の紹介、あるいは診察可能な病院情報の提供とか、頻（ひん）回利用者等への福祉部局と連携した適正利用の呼びかけ、救急隊だけでなく救急有資格者の乗車するポンプ隊との連携の推進に努めているところでございます。

☆**二ノ湯議員**：現在、都道府県と政令指定都市に重複して消防学校が八つの地域にあります。今後、広い範囲内の地域を消防がカバーする時、若い時から一緒に訓練を受けて、同じ釜の飯を食えば、お互いの連絡も、非常に取りやすい。こういう観点から、私は、政令指定都市と都道府県の消防学校を一本化したらと、思います。都道府県と政令指定都市の二重行政の解消、地方の行政組織の合理化からも統合したらいいと思いますが。

**消防庁長官**：特に広域の災害等を考えますと、消防職員同士がある程度意思疎通が出来ている状況は非常に大事だというのはご指摘の通りだと思います。政令指定都市については単独で、あるいは都道府県と共同して設置できるというのが消防組織法の規定になっております。制度論として共同で作ることを我々否定するわけでございません。地域の実情によって判断をいただくべき事柄ではないかと考えています。

☆**二ノ湯議員**：先日、菅総務大臣がNHKに対し、放送法に基づき、短波ラジオの国際放送で拉致問題を重点的に放送するように命令を出す方針を出されました。北朝鮮にいる拉致被害者を、救出するのは国家として最大の使命であります。ただ、短波で日本の現状、或いは拉致された方々に励ましの放送をしても、拉致されている人々が聞くことができるのか、それとも短波放送は北朝鮮の国民、特に政府の高官とか党の幹部で反体制の心を持っている人に対する宣伝活動なのか、その辺をお聞かせください。

**NHK報道担当理事**：拉致家族の様々な動向、講演とかの発言、政府のいろんな動き、それから、外国での動きなどを、すべて伝えております。北朝鮮の受信状況なんですが、北朝鮮で短波ラジオの受信機を実際、手に入れてラジオを聞いている人がどれぐらいいるのか我々としても正確にはつかんでおりません。


参議院総務委員会で質問する二ノ湯議員

## 参議院外交調査会メンバー タンザニア大統領と会談

タンザニア連合共和国は東部アフリカの安定勢力で、複数政党制を採用し、民主的な国家である。伝統的な農業国で、コーヒー、紅茶、たばこなどを生産し、金などの鉱物資源も豊富。伝統的な親日国。去る10月30日、キクウエテ・タンザニア大統領が日本を訪問した。この機会をとらえ、参議院外交調査会(矢野哲朗会長)のメンバー12名が宿泊先のホテルに大統領を表敬訪問した。二ノ湯議員はアフリカへの外遊経験はないが矢野会長の勧めで入会した。日本側の自己紹介の後、矢野会長が「貴国が安定した内政を背景に、民主化を推進していることを高く評価している。タンザニアはわが国のODAの最重点国である。今後も協力関係を深めていきたい。」と歓迎の挨拶をした。これに対し、キクウエテ大統領は、「私は、複数政党の下、民主的選挙で選ばれた。法と人権の支配によって良い政治を行いたい。我々の国は非常に貧しい。貧困を克服するために、経済的に発展する必要がある。そのためには道路、空港、鉄道、港湾の整備を急がねばならない。日本政府から更なる支援をお願いしたい。しかし、ODAばかりに依存しているのではなく、日本からの投資を促進して欲しい。政治的関係だけでなく、経済的関係も強化したい」と日本への期待を込めた挨拶をした。

キクウエテ大統領と握手する二ノ湯議員

## 北川明氏(西京区)が勇退を表明 後継は、公募方式で選考

自民党市会議員団の代表幹事で市会議長、自民党京都府連幹事長も歴任した北川明市会議員(西京区)が、自民党市会議員団の会合で後継者育成の観点からこの際後進に道を譲ることが望ましいと、来年4月に予定されている統一地方選挙に立候補せず、政界から勇退する意向を表明した。北川議員は昭和50年に初当選、以来8期連続して当選してきた。北川氏の永年のライバルであり、同期生である中村安良議員も先に引退を表明しており、西京区ではベテラン議員が二人揃って去ることになった。北川氏は「もう一期勤めるだけの気力と体力はあるが、市会議員としてやるだけのことはやった。後は若い意欲のある人に市政を託したい」と語っている。後継者を指名せず、広く人材を求めるため、地方選挙では珍しい公募方式で候補者を選考することになった。6名が応募し、今月中にも公認候補者を決定する予定である。

## 税理士による二ノ湯さとし後援会定期総会を開催

10月21日、京都タワーホテルにおいて、税理士による二ノ湯さとし後援会定期総会(南出力利会長)が開催された。来賓として、近畿税理士政治連盟今中英雄副会長、岸忠広報委員、また京都府支部連合会より原綱宗会長が出席した。谷口康夫後援会副会長の司会の下、まず南出会長が挨拶をし、次に活動報告及び収支報告をはじめとする全議案が承認可決された。

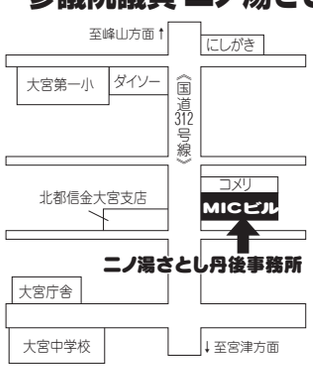
二ノ湯議員による国政報告では、徐々に話に熱が入り、予定の30分を大きくオーバーした。総会後は席を移し、廣瀬来三相談役の乾杯の発声で懇親会が始まり、終始和やかな雰囲気のまま、前田副会長の万歳三唱で盛会裏に終了した。

定期総会で挨拶をする二ノ湯議員

## 衆議院大阪府9区補欠選挙、二ノ湯議員も応援に駆けつける

安倍政権発足後初の国政選挙となった衆議院神奈川16区と大阪9区の統一補欠選挙が10月22日即日開票され、いずれも自民党候補が当選した。大阪府第9区では、前大阪府議の原田けんじ氏が民主党、共産党各候補を振り切り勝利を収めた。与野党とも来年の統一地方選や参院選の前哨戦と位置づけ、総力を挙げて戦った。二ノ湯議員も、4度にわたり大阪に入り、街頭演説会に参加し、事務所を激励訪問し、さらには自らもビラ配りに参加した。安倍首相は初陣を飾ったことで、与党内での求心力が高まり、今後の政権運営への追い風を得た。一方、安倍政権との対決姿勢を強調してきた民主党にとっては打撃となった。

## 参議院議員 二ノ湯さとし丹後事務所 開設のお知らせ




宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町の新たな活動拠点として、この度、京丹後市大宮町に二ノ湯さとし丹後事務所(事務所長：在田芳弘)を開設いたしました。

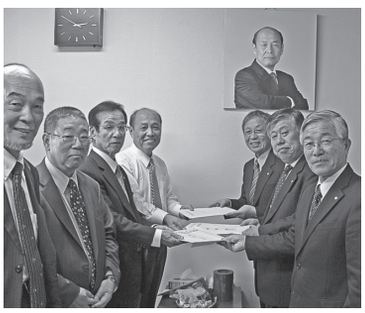
皆様お近くにお越しの際にはお気軽にお立ち寄り下さいます様お願い申し上げます。

〈住所〉〒629-2503
京丹後市大宮町周枳1975
MICビル2階
TEL：0772-68-0864　FAX：0772-68-0824

## 19年度予算要望活動ラッシュ 多くの市町村長が来訪

11月に入ると、東京では来年度の予算編成に向けて様々な全国大会が開かれる。それに伴い、多くの市町村長や団体関係者が地元選出の国会議員や、中央省庁に予算の要望活動をするため上京する。

去る11月7日、国道163号整備促進協議会(会長・橋本洋一南山城村長)、主要地方道「宇治木屋線」改良推進協議会(会長・堀忠雄和束町長)、木津川治水会(会長・藤原秀夫山城町長)の3団体の関係者が二ノ湯議員を訪れ、19年度予算編成にあたり、財源確保に配慮を求める要望書を二ノ湯参議院議員に手渡した。3団体の会長の他に、中西巌笠置町長や竹中嘉親木津町助役、辻本清隆加茂町助役も来訪し、地元の道路・治水事情を説明した。道路特定財源の一般財源化論議や、国の苦しい台所事情による公共事業の削減などで予算確保が年々難しくなってきている。しかし、地方の格差是正のためには必要な公共事業は進めなければならない。来年度の予算編成に向けて、二ノ湯議員は地元の声に熱心に耳を傾けていた。



3団体の代表者から要望書を受けとる二ノ湯議員

## 歩くことは健康の基本

### 第164回 みんなで歩こう湯歩会(参加者77名)

千本十二坊山門前にて

### 第165回 みんなで歩こう湯歩会

- 日　　時：**11月26日(日)**(小雨決行)
- 出発時刻：午前9時(時間厳守)
- 集合場所：南座前
- コース：南座前→八坂神社→石塀小路→高台寺→二年坂→清水坂→清水寺→清閑寺→渋谷街道→泉涌寺→東福寺通天橋→東福寺本堂解散

● 東山三十六峰、全山紅葉の盛りとなりました。今回は以前にも歩こう会で大人気のコースで、京の錦秋のすばらしい景勝地を巡ります。特に高台寺・清水寺・清閑寺・東福寺の紅葉は格別です。歩こう会で、いろいろ見たり聞いたり話したり、多くのご参加をお待ちしております。

● 代表世話人　北村好司郎　☎075-313-8758
(当日)090-1956-7460

## 身辺雑記

一、とうとう北朝鮮が地下核実験を強行した。来るべきものが来たという思いである。更なる実験の阻止、そして核兵器の放棄まで北朝鮮を追い込む必要がある。安倍首相の強い決意を支持したい。

一、アメリカの中間選挙で共和党が敗北。敗因はイラクへの軍事介入に対する批判票といわれている。責任を取ってラムズフェルド国防長官が辞任した。このことが日本の政局にどういう影響を与えるのか、順調に推移している安倍内閣にとって悩みの種である。

一、福岡、北海道、岐阜と、いじめによる子供たちの自殺が相次いでいる。担任や学校側が注意を払えば未然に防げたかも知れない。福岡の中学生の場合は担任の責任が大きい。教育再生の論議の中で、教師の質が問われるのも当然である。

一、親による子供への虐待が後を絶たない。長岡京市で食事を与えてもらえず幼い男の子が餓死した。児童相談所はそこまで深刻であったとは思わなかったと言っているが、もっと細心の注意を払えなかったのか。

一、せめて親の死に目に会いたいと思うのは子供の素直な気持ちである。私の大変親しい人の奥様が臨終間際の青息吐息の中で、子供に会いたいと懇願しているのに会おうともしない子供がいた。両親の自慢の息子だったのに親子の間に何があったのか。

## 新春招福バスツアー 第20回 伊勢神宮初詣

◇旅 行 日　**平成19年1月8日(月・祝)**
◇昼食場所　**賢島『宝生苑』**
◇申込締切日　**平成18年12月11日(月)**
◇会　　費　**8,000円**
◇申込先　**後援会役員または二ノ湯さとし京都事務所まで**
TEL(075)315-2228
FAX(075)315-2310

記念すべき20回目の伊勢初詣バスツアー。一年間の幸福を祈願し、新たな気持ちで新年を迎える行事として、多くの方々のご参加をお願いいたします。

参議院議員　二ノ湯さとし後援会